

インターバンクの声（2017 年 8 月 25 日）

ニューヨーク市場の昼前に 109 円 10 銭台まで下落したドル円だが、終盤には 109 円台中盤まで戻した。この水準で米ジャクソンホール会合でのイエレン FRB 議長やドラギ ECB 総裁の講演を待つのは、およそ市場の想定内だ。

米中古住宅販売件数が 2 カ月連続の減少となったが、先月同様それほど大きな影響はなかった。ダウ平均株価の伸び悩みや米金利の低下がドルの上値を抑え込むかと思われたが、一部でイエレン議長が 12 月の利上げや 9 月のバランスシート縮小について踏み込んだ発言をする可能性があるだろうとの噂が広がったことが終盤でのドル買いに繋がったらしい。

前日はトランプ大統領の予算確保のために政府機関閉鎖も辞さずとの発言が大きく影響したが、昨日は株価にその余波が残ったものの、為替についてはイエレン議長やドラギ総裁の講演前までにポジションを元に戻しておきたいと考えた投資家が多かったようだ。

今日の東京時間も大きな変化を期待出来そうもなく、我慢の一日になりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。